



低位前方切除後症候群 (LARS; Low Anterior Resection Syndrome) を知っていますか？

第3弾 LARS を患う当事者が参画する活動と研究

身近な人に話しにくい、聞きにくい体験談も掲載・応募しております。

基礎研究(B) 課題番号:21H03244H

「対処困難な直腸温存術後の排便障害を抱える患者への看護ケアガイドラインの開発」

佐藤正美 深井喜代子 榎本浩也 谷山 牧
荒木しのぶ 今泉郷子 江川安紀子 岡田みどり
幸田圭史 松原康美 三宅映子 柳 朝子



一般社団法人
日本看護研究学会

日本看護研究学会第50回学術集会 COI開示

佐藤正美 深井喜代子 榎本浩也 松原康美
荒木しのぶ 今泉郷子 江川安紀子 岡田みどり
幸田圭史 谷山 牧 三宅映子 柳 朝子

発表に関連し、筆頭演者と共同発表者には、過去3年間に
おいて、開示すべきCOI 関係にある企業などはありません。

進め方

司会 深井喜代子

内容		担当
交流集会の目的とLARSについて	5分	佐藤 正美
LARSの原因と治療・診療の実際	15分	榎本 浩也
LARSの実際－生活への影響について	7分	佐藤 正美
今後の計画	7分	谷山 牧
医療者と患者が作った「動画」の紹介	12分	佐藤 正美
《質疑応答》	14分	

本交流集会の目的とLARSについて

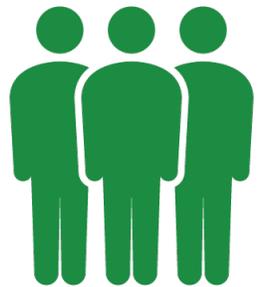
直腸がんで肛門を温存する手術後に生じる**排便障害**



LARS患者への
効果的なケアを検討

低位前方切除後症候群

LARS ; Low Anterior Resection Syndrome



LARSを患う**当事者**も研究に参画

当事者の参画による研究の広がりと発展の可能性

私たちの
研究組織・研究チーム

根拠のあるケアの探究

看護学研究者
生理学者

当事者

認定看護師
専門看護師

医師
医学研究者

治療:手術

Specialistに
よるケア実践

治療・ケア—臨床



科研費 基盤研究(B)(課題番号:21H03244)の助成

直腸がん術後の排便障害 **With LARS**

手術後の排便障害とうまく付き合っていくための情報共有サイト
身近な人に話しにくい、聞きにくい体験談も掲載・応募しております。

基盤研究(B) 課題番号:21H03244H
「対処困難な肛門温存術後の排便障害を抱える患者への看護ケアガイドラインの開発」

SCROLL DOWN

With LARSの願い



低位前方切除後症候群とは

LARS ; Low Anterior Resection Syndrome

低位前方切除後症候群（LARS：Low Anterior Resection Syndrome）を知っていますか？

LARSの原因と治療・診療の実際

榎本浩也
荒木しのぶ
幸田圭史

佐藤正美
今泉郷子
松原康美

深井喜代子
江川安紀子
三宅映子

谷山 牧
岡田みどり
柳 朝子



一般社団法人

日本看護研究学会

日本看護研究学会第50回学術集会 COI 開示

<u>榎本浩也</u>	佐藤正美	深井喜代子	谷山 牧
荒木しのぶ	今泉郷子	江川安紀子	岡田みどり
幸田圭史	松原康美	三宅映子	柳 朝子

発表に関連し、筆頭演者と共同発表者には、過去3年間において、開示すべきCOI関係にある企業などはありません。

大腸癌患者は多い

がん罹患数の順位（2019年）

	1位	2位	3位	4位	5位
総数	大腸	肺	胃	乳房	前立腺
男性	前立腺	大腸	胃	肺	肝臓
女性	乳房	大腸	肺	胃	子宮

がん死亡数の順位（2021年）

	1位	2位	3位	4位	5位
男女計	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓
男性	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓
女性	大腸	肺	膵臓	乳房	胃

診断される数（2019年）

155,625例（男性87,872例、女性67,753例）

15万人

死亡数（2020年）

51,788人（男性27,718人、女性24,070人）

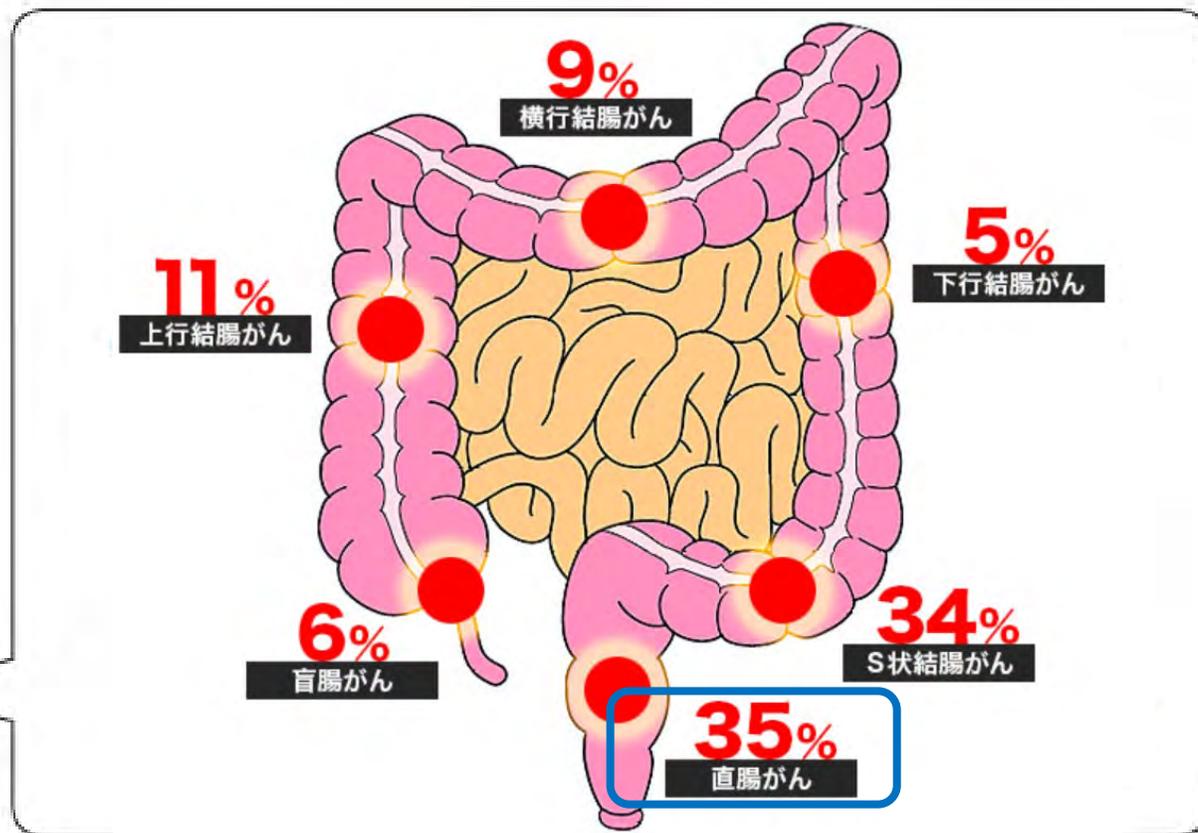
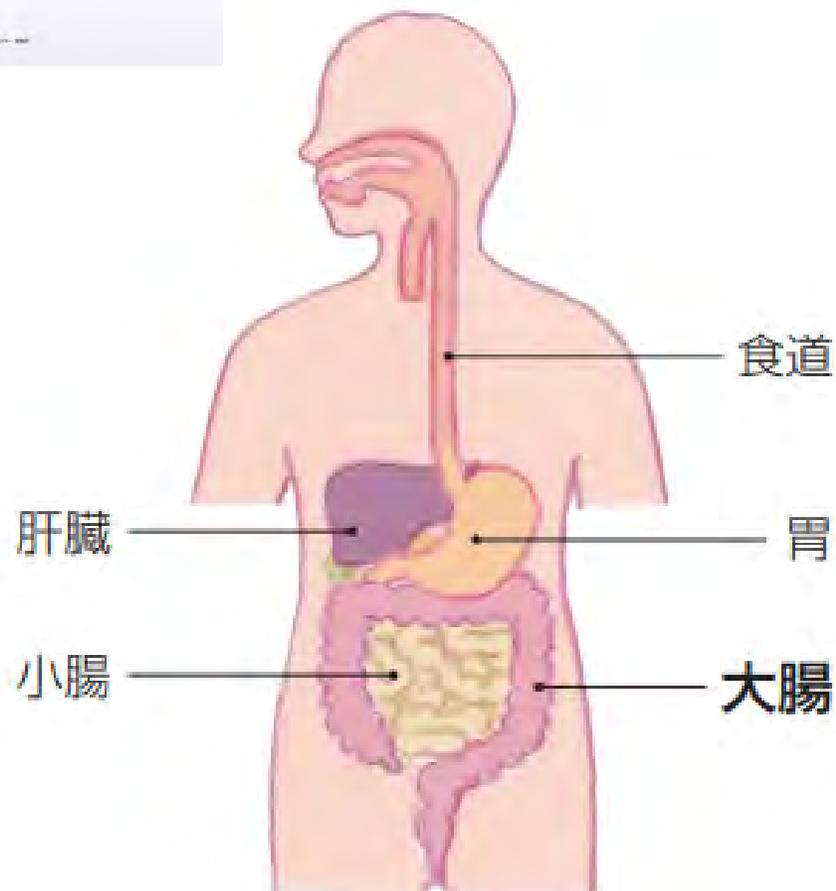
5万人

男性の10人に1人、女性の12人に1人が大腸癌になる。



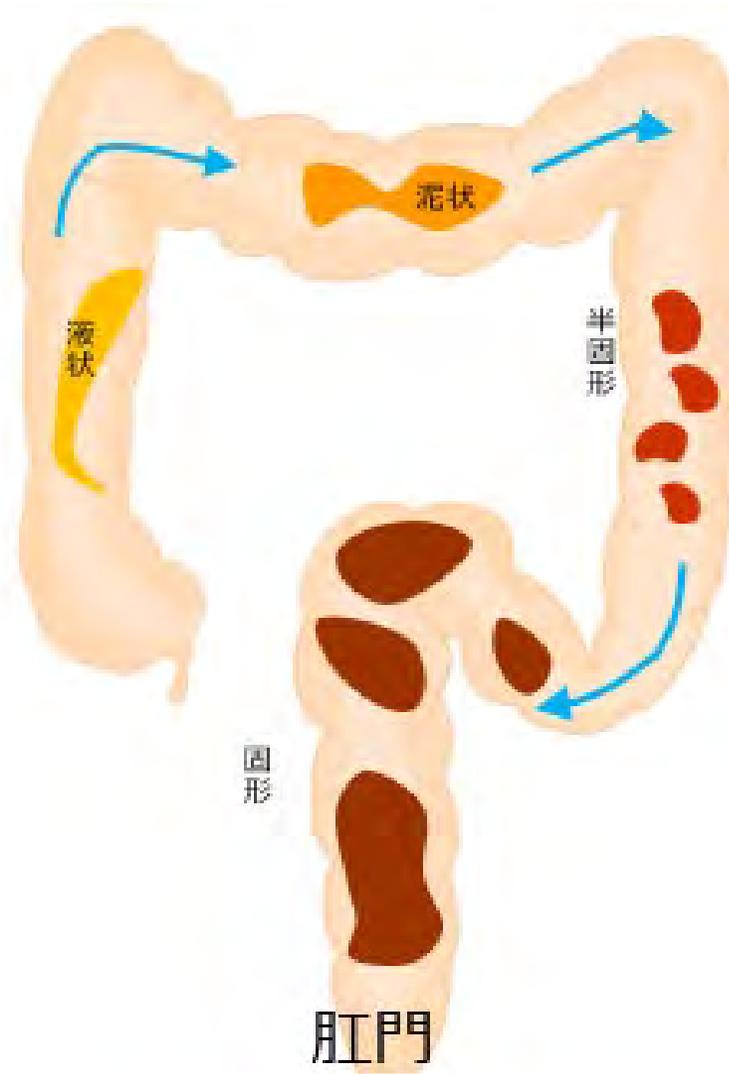
大腸癌の部位別発生頻度

直腸癌は大腸癌の1/3



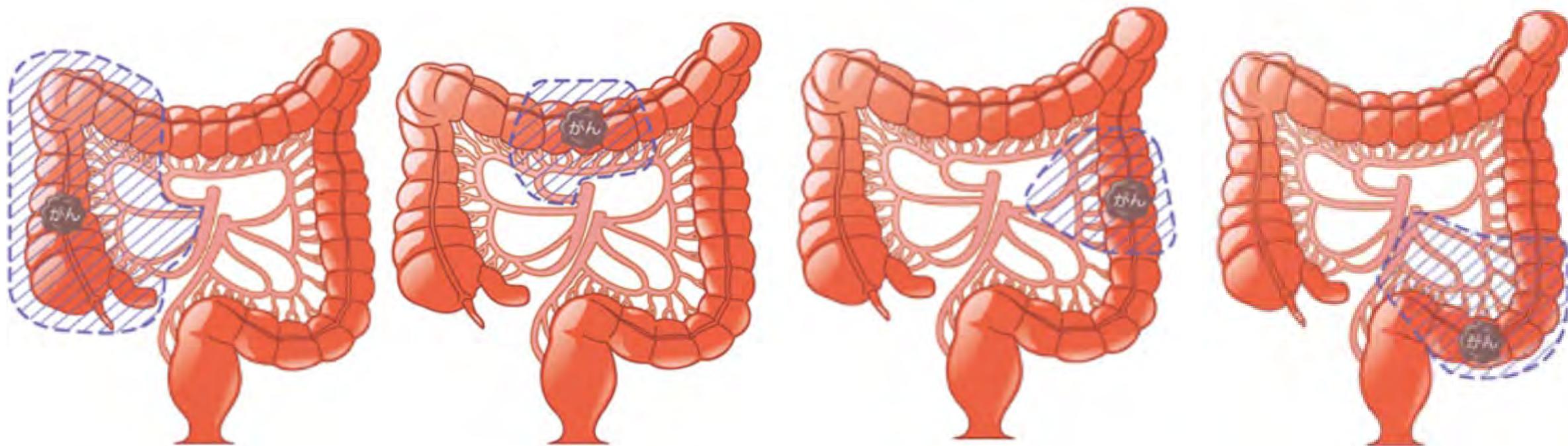
「大腸がん検診ガイドライン・ガイドブック」を参考に作成

大腸の働き



- ・ 大腸は小腸から流入した液状の便から水分、脂肪酸の一部、ナトリウムなどを吸収し、**固形の便にして肛門に運びます。**
- ・ S状結腸で便にまとめ、肛門近くの**直腸に便がくるとトイレに行きたい**という感覚が生じます。

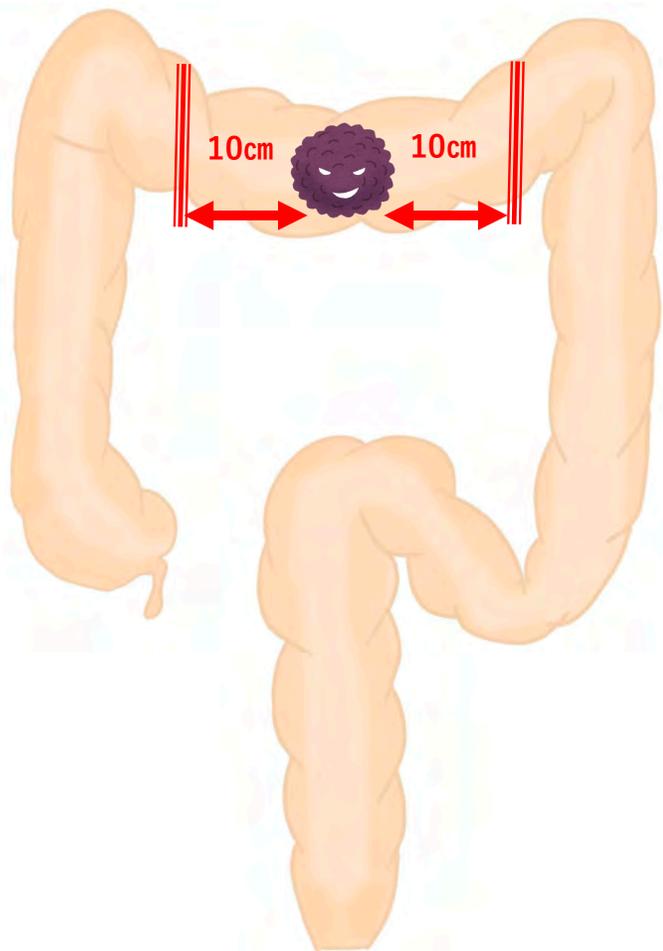
結腸癌手術



出典：消化器外科学会ホームページ

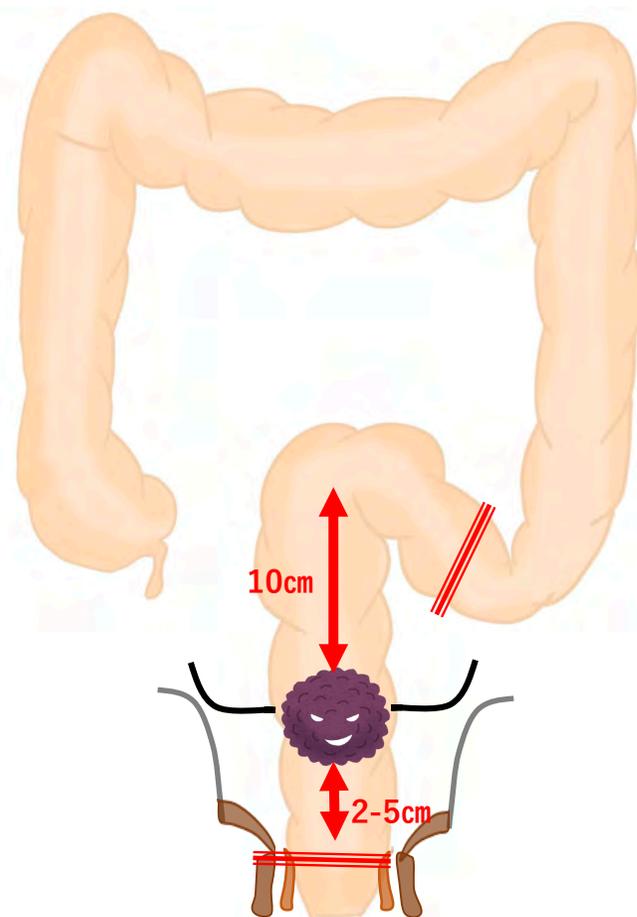
https://www.jsgs.or.jp/modules/citizen/index.php?content_id=8#01

結腸癌



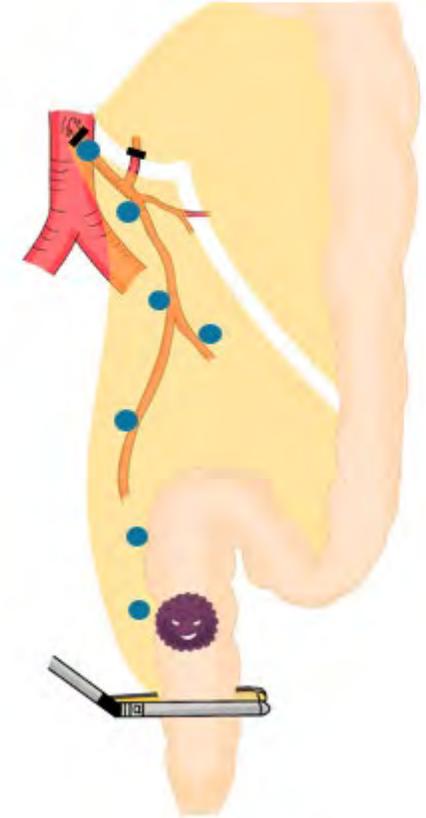
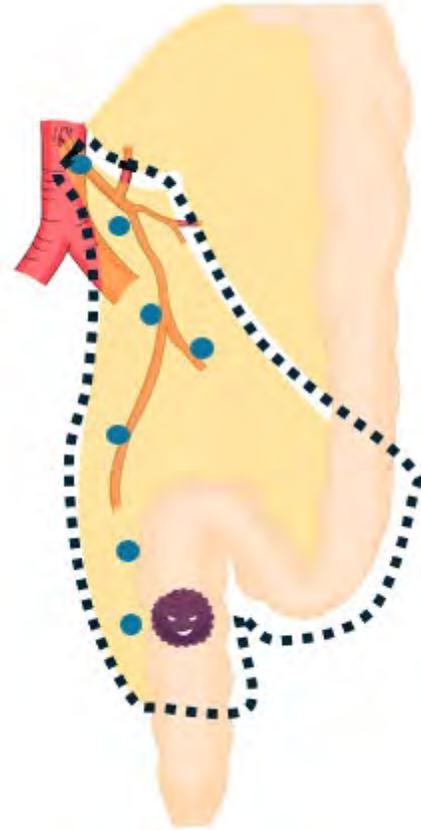
残存結腸が結腸機能を補い、
排便への影響は少ないことが多い

直腸癌



残存直腸が少ないと直腸機能を補えず、
排便への影響が大きい

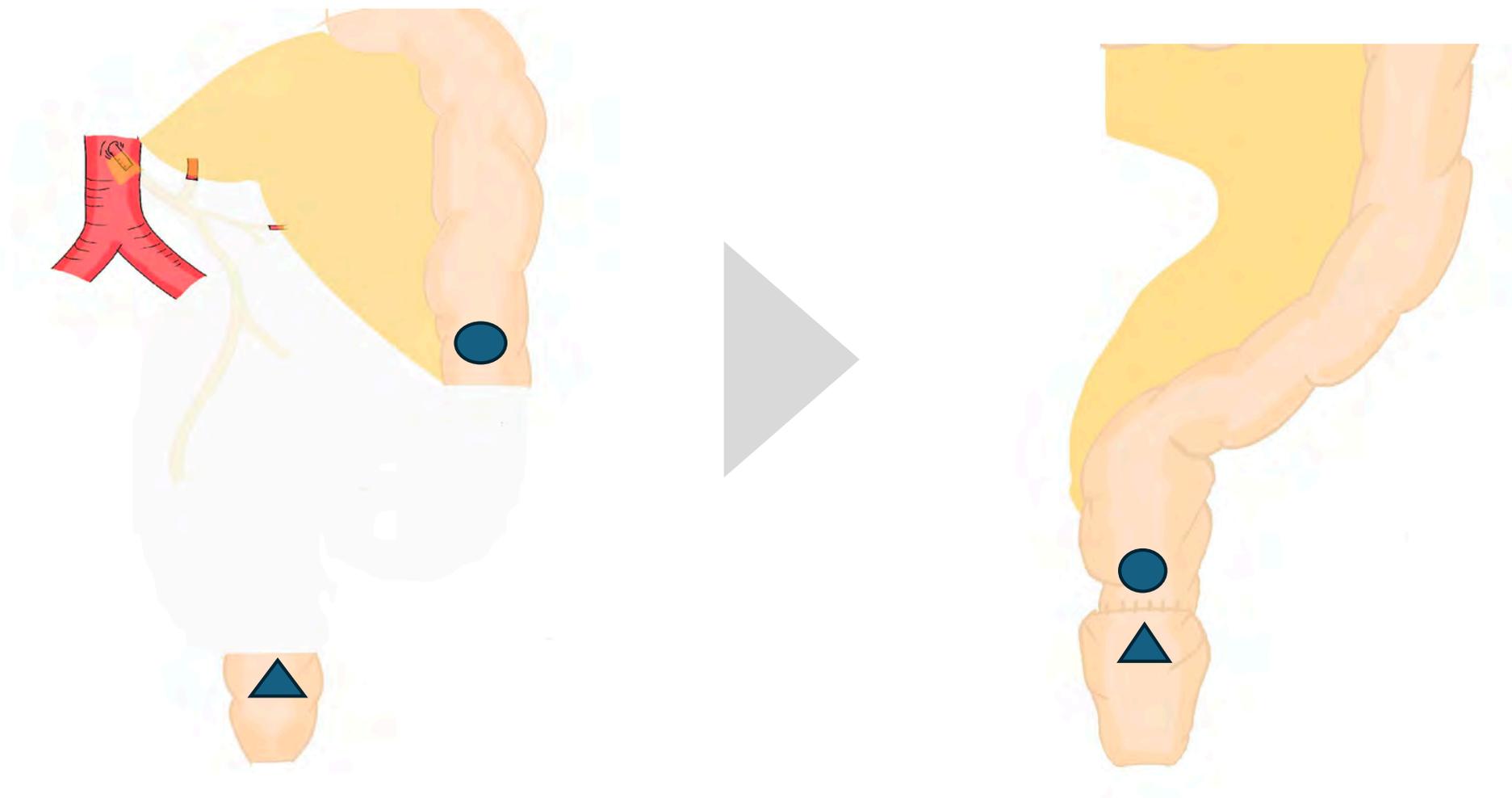
直腸の手術の流れ



血管を根本で切る

腫瘍の肛門側を器械で切断

直腸の手術の流れ



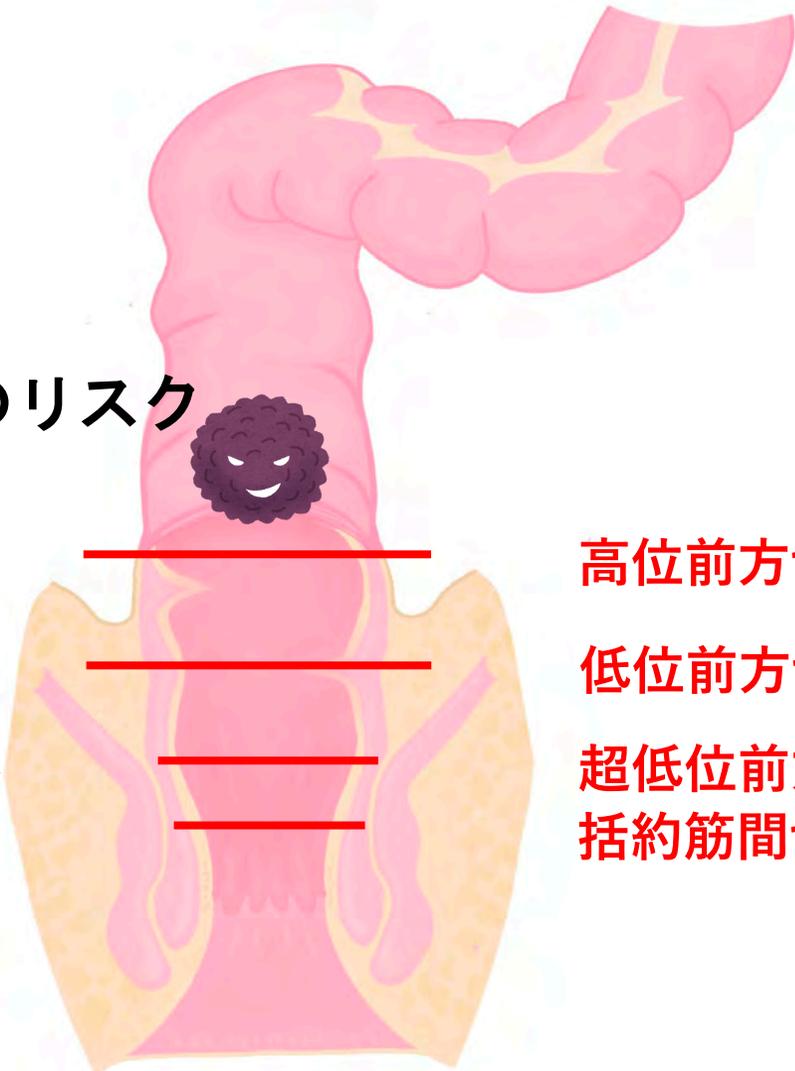
口側の腸管と肛門側の腸管をつなぐ

縫合不全のリスクが高い場合は一時的人工肛門造設を行う

縫合不全のリスク



高い

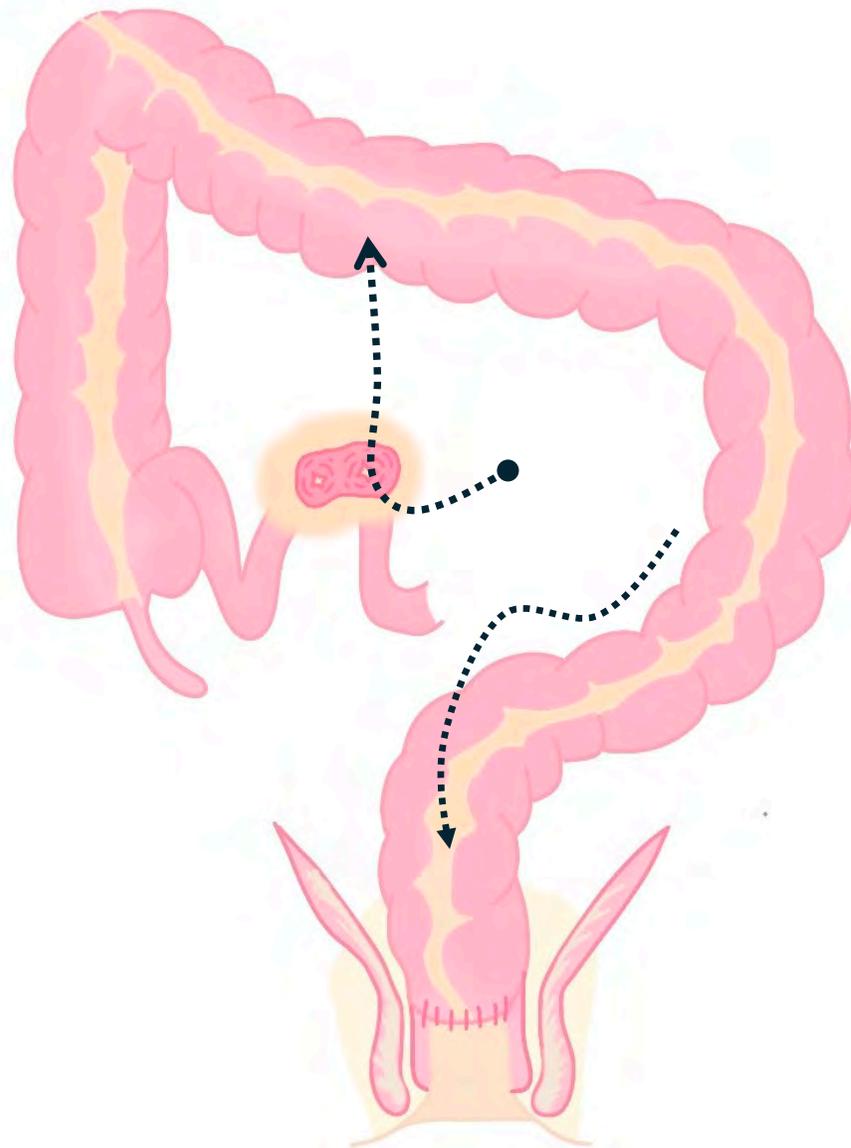


高位前方切除術

低位前方切除術

超低位前方切除術

括約筋間切除術



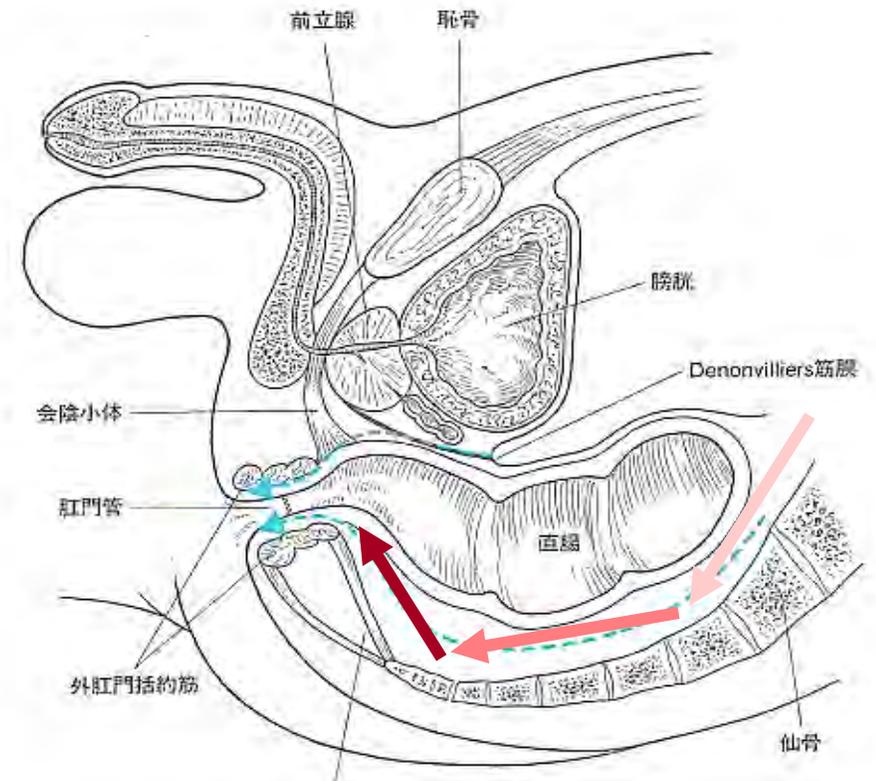
直腸癌の手術は肛門に近づく程に難しい

- ✓ 解剖学的な角度がきつい
- ✓ 骨盤腔が狭い（特に男性）
- ✓ 傷つけてはいけない排尿、性機能の神経が近い
- ✓ 男性は精嚢と前立腺、女性は子宮と膣が近接



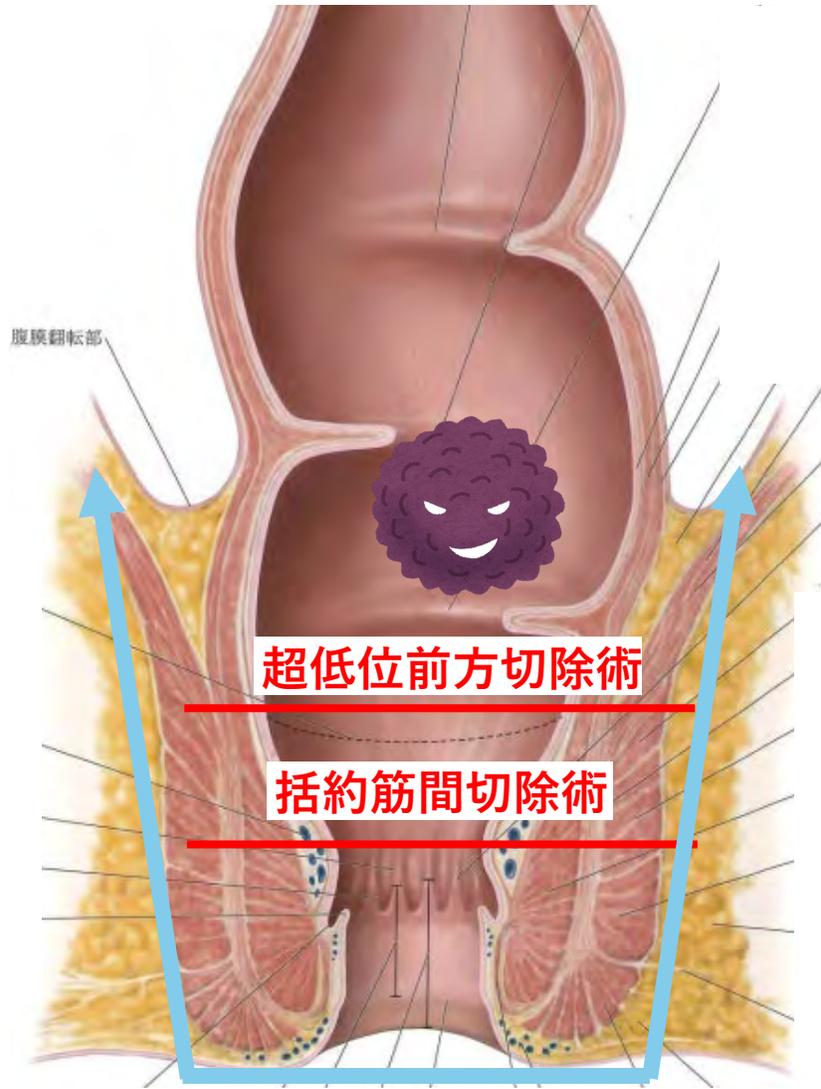
縫合不全率、局所再発率が高い
癌が大きければより視野不良、手術操作も困難

膀胱、精嚢、前立腺、
子宮、膣、神経が近い



この角度が手術でつらい

技術の進歩により肛門温存手術が増加



腹会陰式直腸切断術
(永久人工肛門)

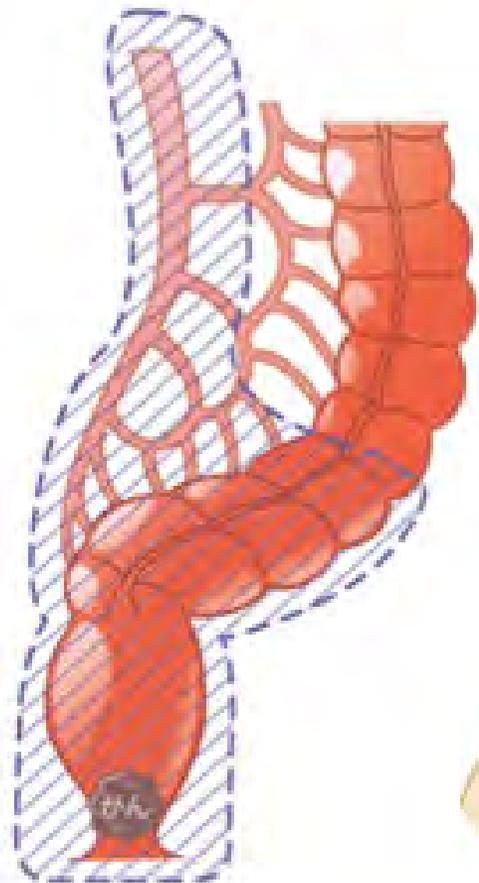


超低位前方切除術
括約筋間切除術
(肛門温存手術)

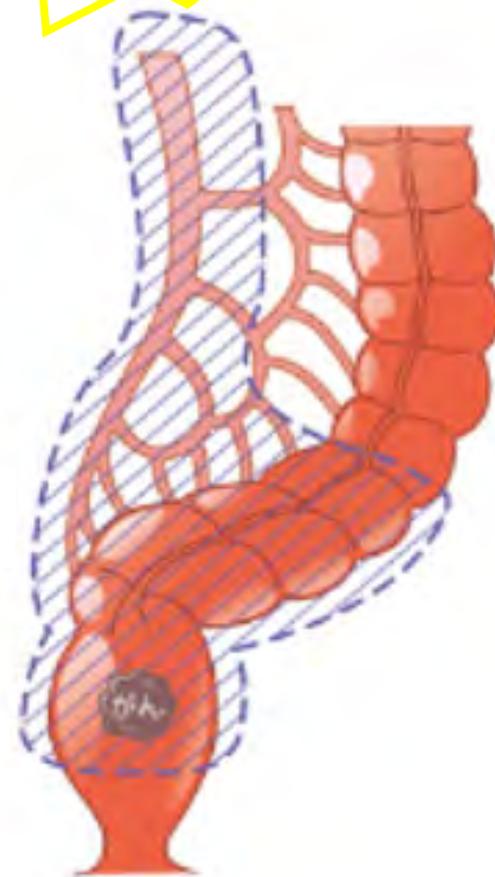
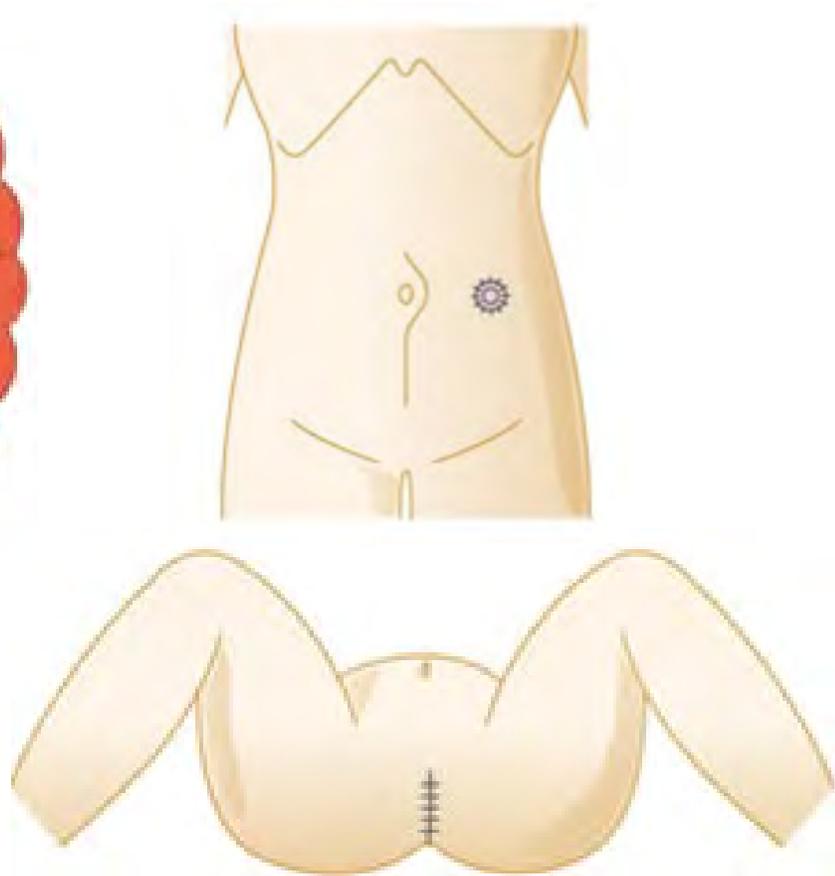
人工肛門

直腸癌手術

排便障害



直腸切断術



肛門温存手術

術後排便障害

直腸癌術後排便障害の症状

- ・ 一度に便排出ができない
- ・ 短時間に何度もトイレに通う
- ・ 便排出が完結できない
- ・ 頻便
- ・ 便失禁
- ・ 便意を我慢できずにトイレに駆け込む
- ・ 便意がいつ起こるかわからない

生活に及ぼす影響

- 便が出だすと、その後頻回に排便が続きトイレから離れられない
- 便意が突然襲ってきて、トイレを探しているうちに便を漏らした
- 会議の途中でおならが我慢できなくて恥ずかしい思いをした
- 外出する時は、食事を抜いてオムツをして出かける
- 突然の便意や失便が怖くて外出できない
- 排便障害により仕事内容の変更した、辞めることにした
- 朝起きたら下着に便がついていた
- 趣味を継続できなくなった

直腸切除後排便障害の症状と生活への影響

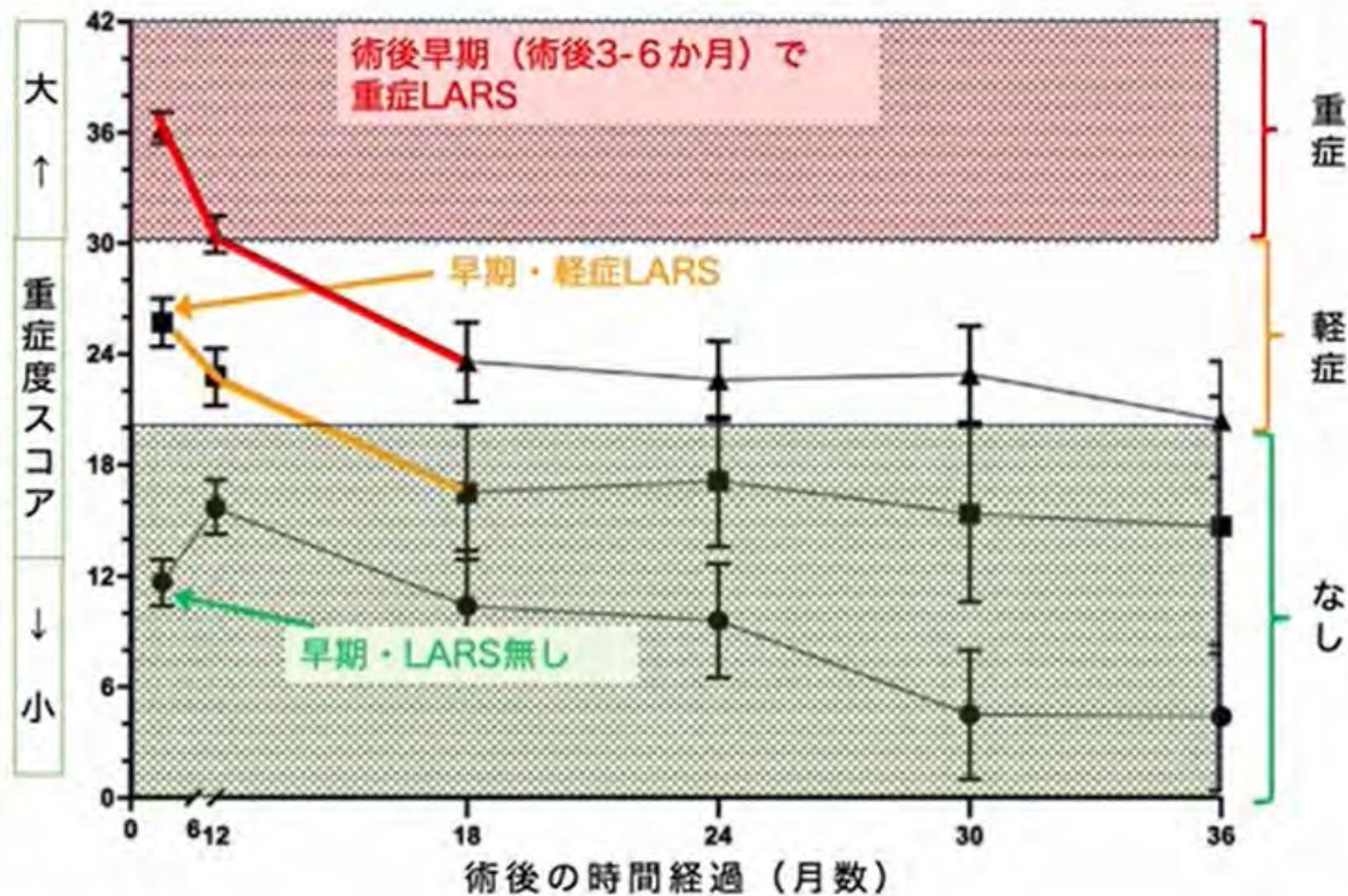
Low Anterior Resection Syndrome ; LARS



少なくとも一つの症状によって生活への影響を少なくとも一つは生じること

経時的なLARSの症状の変化

Varghese C, et al. Ann Surg 2022; 276: 46-54



LARSは個人差が大きい：その差をどう把握する？



患者Aさん

- ・複数の症状が出て頻度も高い
- ・生活に大きな悪影響

予測不可能な排便	排便困難残便感	トイレ依存	精神や情緒
便性状が不安定	便意切迫感	排便に執着している	日常生活・社会活動
頻回便	切迫性便失禁	排便に不満	対人関係
繰り返す排便時痛	漏出性便失禁	排便のための計画や妥協	社会的役割を果たせない



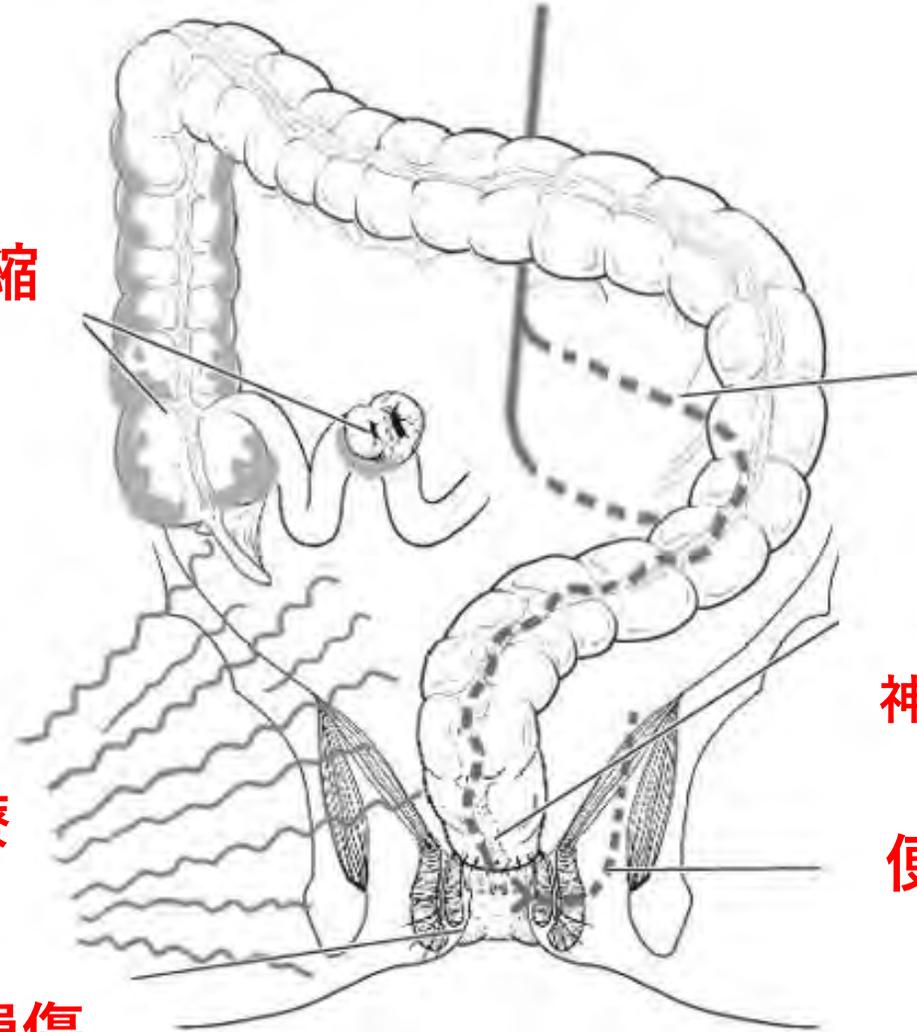
患者Bさん

- ・一つか二つの症状がたまに
- ・そこまで生活に影響なし

予測不可能な排便	排便困難残便感	トイレ依存	精神や情緒
便性状が不安定	便意切迫感	排便に執着している	日常生活・社会活動
頻回便	切迫性便失禁	排便に不満	対人関係
繰り返す排便時痛	漏出性便失禁	排便のための計画や妥協	社会的役割を果たせない

LARSの機序

一時的ストマによる
排便に関わる筋肉の萎縮



腸管自律神経障害による
腸管蠕動亢進

新直腸の貯留能の変化
(便貯留能の減少、
神経障害による排便反射の低下)

便意の感覚喪失

骨盤への放射線治療

括約筋の切除、神経損傷

直腸癌術後排便障害の頻度

直腸癌手術を受けた患者さんの約 **80~90** %

Martellucci J : Low Anterior Resection Syndrome :A Treatment Algorithm. Dis Colon Rectum 59 : 79-82, 2016

10 年以上経っても患者さんの **50** % の人が苦しんでいる

Sturiale A, et al : Long-term functional follow-up after anterior rectal resection for cancer. Int J Colorectal Dis 32 : 83-88, 2017



Awareness and management of low anterior resection syndrome: A Dutch national survey among colorectal surgeons and specialized nurses



Gwendolyn Thomas^{a,1}, Maarten van Heinsbergen^{b,1}, Joost van der Heijden^a, Gerrit Slooter^a, Joop Konsten^b, Sabrina Maaskant^{a,*}

^a Department of Surgical Oncology, Máxima Medical Center, Veldhoven, the Netherlands

^b Department of Gastro-intestinal Surgery, Viecuri Medical Center, Venlo, the Netherlands

大腸外科、大腸ケア看護師242名

医療者は、LARSの有病率は **20~40** % と推定

Low anterior resection syndrome に関する実態調査

松岡 弘芳¹⁾ 安野 正道²⁾ 高橋 慶一³⁾ 船橋 公彦⁴⁾

齊田 芳久⁵⁾ 板橋 道朗⁶⁾ 松田 圭二⁷⁾ 藤井 正一⁸⁾

小川 真平⁹⁾ 山田 岳史⁹⁾ 衛藤 謙¹⁰⁾ 正木 忠彦¹¹⁾

杏林大学保健学部救急救命学科¹⁾, 東京医科歯科大学医学部付属病院大腸肛門外科²⁾,

がん感染症センター駒込病院外科³⁾, 東邦大学医療センター大森病院一般・消化器外科⁴⁾,

東邦大学医療センター大橋病院外科⁵⁾, 東京女子医科大学消化器一般外科⁶⁾,

帝京大学外科学教室⁷⁾, 国際医療福祉大学市川病院消化器外科⁸⁾, 日本医科大学消化器外科⁹⁾,

東京慈恵会医科大学消化管外科¹⁰⁾, 杏林大学消化器一般外科¹¹⁾

大腸肛門外科医43名が回答

術後患者との関係が不良になった

9 %

担当医師の交代や他院の紹介

19 %

精神科コンサルト

17 %

- ✓ 術前に十分な説明が行えていない場合が多い
- ✓ 十分な説明なしに手術をしている可能性がある

共有意思決定



直腸癌です。
手術が必要です。

- ・ 家族になんて言おう
- ・ 死んじゃうのかな？
- ・ 仕事どうしよう
- ・ 子供どうしよう
- ・ 人工肛門だけは嫌だ
- ・ 検診受けとけば・・・
- ・ 何が悪かった？
- ・ お金大丈夫か？
- ・ もうゴルフできないかな？



患者の**生活環境**や**人生観**に応じた選択・決定を支援・共有する



手術を受ける患者



医療者

情報・意思を共有し一緒に選択・決定を行う

生活環境や人生観に応じた**選択・決定**を**支援・共有**する



手術を受ける患者

仕事
内容や環境

趣味

家族内役割

願い

地域・社会

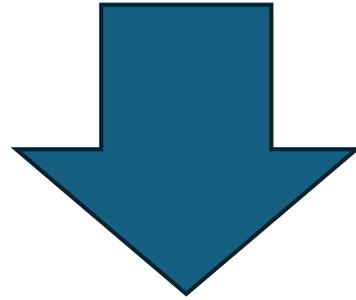
人工肛門造設術

生活への影響

肛門温存術

患者市民参画

LARSの情報が不足、サポート体制が不十分



LARSを患っている当事者と一緒に考えていくべき

LARSの実際

－生活への影響について

LARSの実際—生活への影響

- ずっーとずーっと天秤にかけていた排便障害と永久ストーマ造設…
- 薬で調整出来ない、便秘と下痢の繰り返し、便失禁、
- 1日中トイレの事で頭が一杯で何も出来ない、便意があるのに出す事が出来ない、1日中何度もトイレに行って、何時間もトイレに籠る生活、いつ来るから分からない切迫便意、お腹に爆弾を抱えて外出出来ない、いつまで続くか分からない辛い排便障害とお別れしようと思います。
- ストーマ閉鎖してから造設する人は少ないと聞いていますが、この先自分の時間を取り戻すにはストーマ造設しかないと考えました。いざ造設するとなると、やっぱり涙が止まりません😭おしりから漏らすかストーマで受け止めるか、このまま何もせず終わらせたくないです。

SNS患者コミュニティ ピアリング・ブルーの協力を得て作成

LARSの実際—生活への影響

- 直腸がんに罹患してから、放射線治療、抗がん剤治療、外科手術を受けて頑張って来ました。ストーマ閉鎖して丁度1年経ちます。便失禁で休職中です。
- 職場復帰が目標で頑張って来ました。生きがいでした。
- 今日、会社から傷病手当金の期間が終了したら解雇と言われました。
- ストーマ造設しても復帰出来ないと言われてしまいました。ストーマが悪いのではないけど、オストメイトだと周りのスタッフが気を使ってしまうからと言われました。正社員からパート勤務も出来ないと言われました。絶望的です
- 悔しくて悲しくてどうにもならないです。
- もっと早くストーマ造設して仕事復帰すれば良かったです。とても後悔します。これから生きていく自信がなくなりました。

SNS患者コミュニティ ピアリング・ブルーの協力を得て作成

LARSの実際—生活への影響

- 直腸全摘出して術後5ヶ月間は一時的ストーマ。その後ストーマ閉鎖術を受けてから3年半過ぎました。薬も色々処方してもらいました。
- 食べ物によっても薬の効果もせず 一日20~30お通じに通うこともありました。
- その後、軟便になる食べ物を控える事により薬の効果も出て、今ではリンゼスを夕食30分前に服用し、食後の1時間内にお通じが出るようになりました。
- トイレに2時間籠りっぱなしの日もあります。

SNS患者コミュニティ ピアリング・ブルーの協力を得て作成

LARSの実際—生活への影響

- 202X年Y月直腸癌ステージIで、腹腔鏡下ロボット支援で手術しました。
- 4ヶ月後に一時的ストーマを閉鎖。その後、排便障害に苦しみます。その間、YouTubeでカロリーナさんの動画に辿り着き、必死で拝聴し励まされたり考えさせられたりの日々。
- 主治医から個人差があると言われたあの辛い辛い排便障害に耐えられなくて、一時的ストーマ閉鎖から10ヶ月後に永久ストーマ造設いたしました。その後はQOLが格段に上がり、現在は職場復帰も果たすことが出来ました。

進め方

司会 深井喜代子

内容		担当
交流集会の目的とLARSについて	5分	佐藤 正美
LARSの原因と治療・診療の実際	15分	榎本 浩也
LARSの実際－生活への影響について	7分	佐藤 正美
今後の計画	7分	谷山 牧
医療者と患者が作った「動画」の紹介	12分	佐藤 正美
《質疑応答》	14分	

今後の計画

私たちの
研究組織・研究チーム

根拠のあるケアの探究

看護学研究者
生理学者

当事者

認定看護師
専門看護師

医師
医学研究者

治療:手術

Specialistに
よるケア実践

治療・ケア—臨床



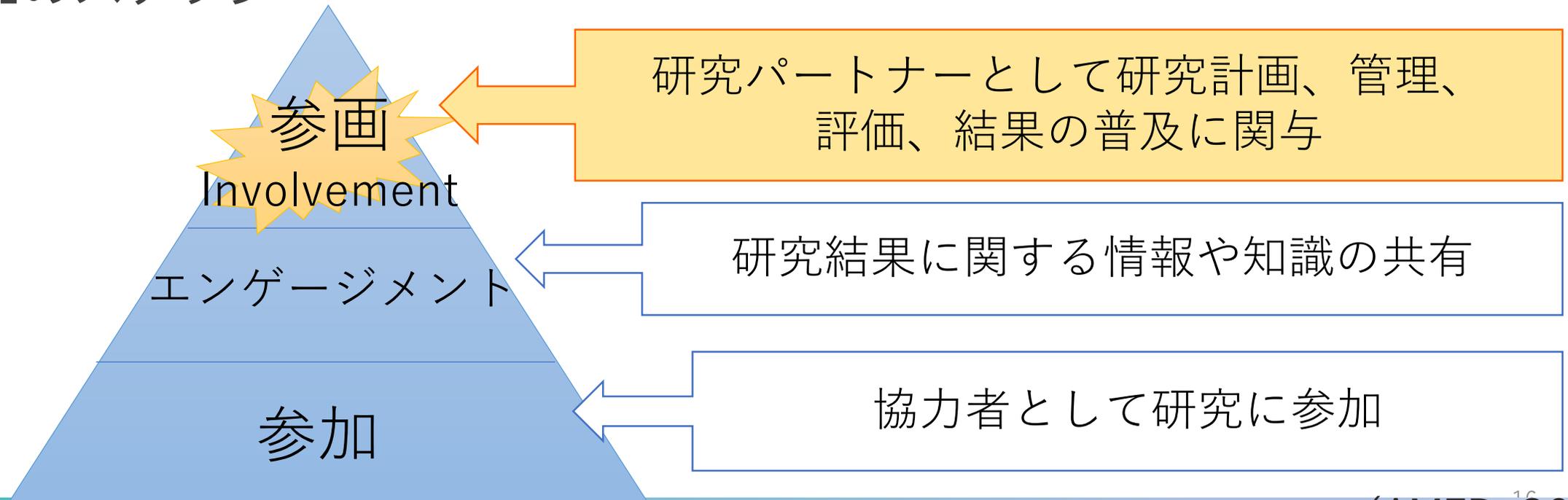
科研費 基盤研究(B)(課題番号:21H03244)の助成

最近話題の「患者・市民参画」(PPI)とは？

- 医学研究・臨床試験プロセスの一環として、研究者が**患者・市民**の知見を参考にすること
- Patient and Public Involvement:PPI

患者、家族、患者経験者、
未来の患者を想定

PPIのステップ



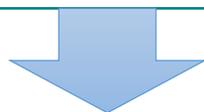
PPIの意義

医療倫理

経験知を活かす

研究の民主化

- LARS:症状、活動や参加への影響、対処方法、どのように感じているのか
⇒ 当事者の方が一番知っている！



がんサバイバーである当事者に研究チームの様々な活動に参画いただいている

患者・市民参画の実際/今後の計画

- LARS:症状、活動や参加への影響、対処方法、どのように感じているのか
⇒ 当事者の方が一番知っている！

研究背景・
研究目標

研究者⇒当事者

質問内容

研究者⇔当事者

表現方法

研究者+当事者

分析

研究者⇒当事者

ZOOMやSLACKを使って意見交換

医療者と患者が作った「動画」の紹介

直腸がんを
学ぶ動画

直腸がん大事典



大腸外科医
(東京)



看護師
(東京)



大腸外科医
(北海道)



大腸外科医
(福岡)



看護師
(鹿児島)



直腸がん患者
(神奈川)



医療者と患者が作りました



直腸がん術後の 排便障害



LARSとは

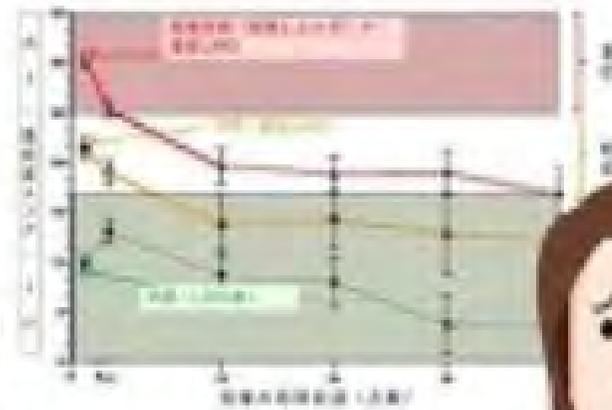
前編



監修：秋月恵美

(大腸外科医・札幌いしやまクリニック)

直腸がん術後の 排便障害



ラース?

LARSとは

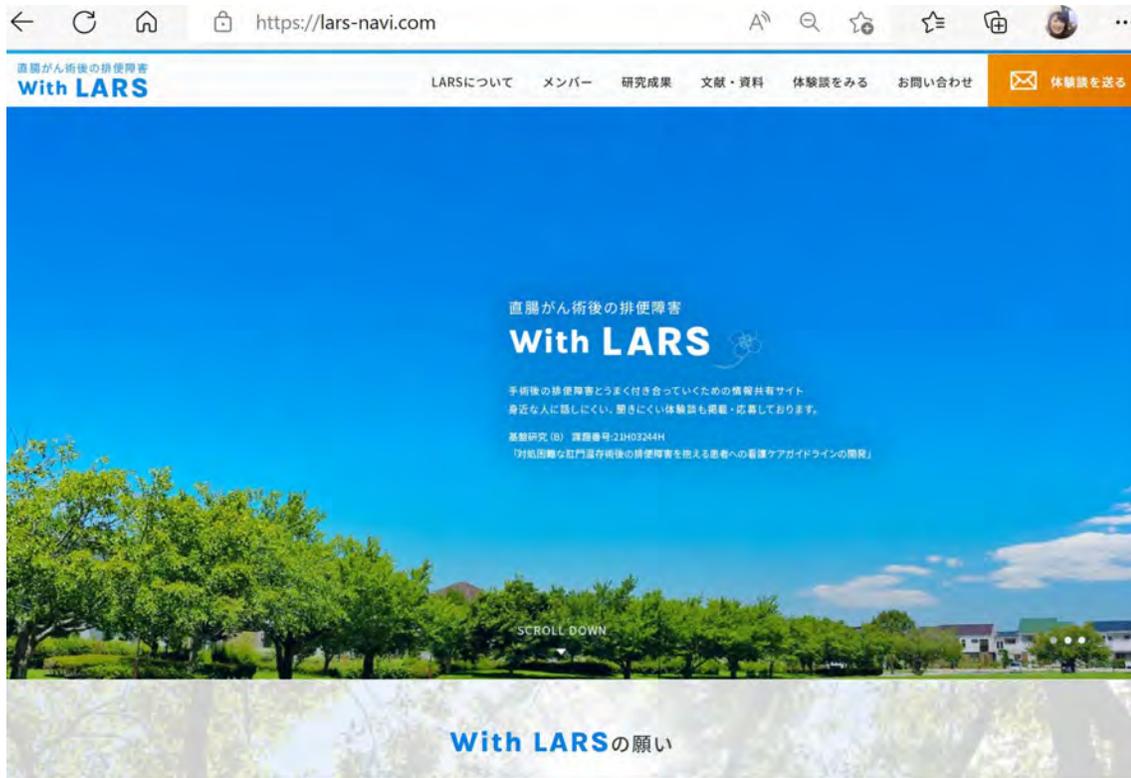
後編



監修：秋月恵美

(大腸外科医・札幌いしやまクリニック)

アンケートへのご協力をよろしくお願いいたします。



masami.sato@jikei.ac.jp